

平成28年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

| | |
|----------------------------------|----|
| ①組織体制(様式1-1) | |
| 1 計画の実施・推進体制 | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | |
| 1 景観計画 | 2 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | |
| 1 名古屋城本丸御殿の復元 | 3 |
| 2 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備 | 4 |
| 3 名古屋城二之丸庭園の整備 | 5 |
| 4 名古屋城石垣の整備 | 6 |
| 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」 | |
| 5 の保存・公開と市政資料館としての活用 | 7 |
| 6 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営 | 8 |
| 7 文化のみち榎木館の管理運営 | 9 |
| 8 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上 | 10 |
| 9 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔) | 11 |
| 10 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) | 12 |
| 11 本町城下町歴史案内板等整備事業 | 13 |
| 12 世界の金シャチ横町構想の推進 | 14 |
| 13 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区) | 15 |
| 14 歴史的町並み保存事業(四間道地区) | 16 |
| 15 建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業) | 17 |
| 16 徳川園の管理運営 | 18 |
| 17 蓬左文庫の保存と公開活用 | 19 |
| 18 堀川の総合整備 | 20 |
| 19 尾張名所図会看板の整備 | 21 |
| 20 「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) | 22 |
| 21 中川運河の再生 | 23 |
| 22 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園) | 24 |
| 23 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業 | 25 |
| 24 歴史的建造物の登録・認定 | 26 |
| 25 なごや歴まちびとの派遣 | 27 |
| 26 文化のみちの推進 | 28 |
| 27 「歴史の里」整備事業(公開活用事業) | 29 |
| 28 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業 | 30 |
| 29 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援 | 31 |
| 30 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写 | 32 |
| 31 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理 | 33 |
| 32 郷土ゆかりの文学資料室 | 34 |
| 33 水上交通ネットワークの検討 | 35 |
| 34 「ものづくり文化の道」推進事業 | 36 |
| 35 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業 | 37 |
| 36 熱田区役所における歴史資料展示 | 38 |
| 37 名古屋まつり | 39 |

| | | |
|----------------------------|--|----|
| 38 | 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 | 40 |
| 39 | 伝統産業若手育成事業助成 | 41 |
| 40 | 伝統産業新商品開発事業助成 | 42 |
| 41 | 伝統産業製品PR事業助成 | 43 |
| 42 | 名古屋市民芸術祭 | 44 |
| 43 | なごや子どものための巡回劇場 | 45 |
| 44 | 名古屋市芸術文化団体活動助成 | 46 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | | |
| 1 | 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど | 47 |
| 2 | 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など | 48 |
| 3 | 防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等)文化財防火デー等の防災訓練の取組 | 49 |
| 4 | 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等 | 50 |
| 5 | 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画) | 51 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | |
| ⑥その他(様式1-6) | | |
| □総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2) | | |
| ① | 計画に記載している方針(様式2-1) | 54 |
| □総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3) | | |
| ① | 歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1) | 62 |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式4) | | |
| | | 65 |

評価軸①
組織体制

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

| | | |
|------------|---|--|
| 計画の実施・推進体制 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
|------------|---|--|

計画に記載している内容
観光文化交流局歴史まちづくり推進室及び教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

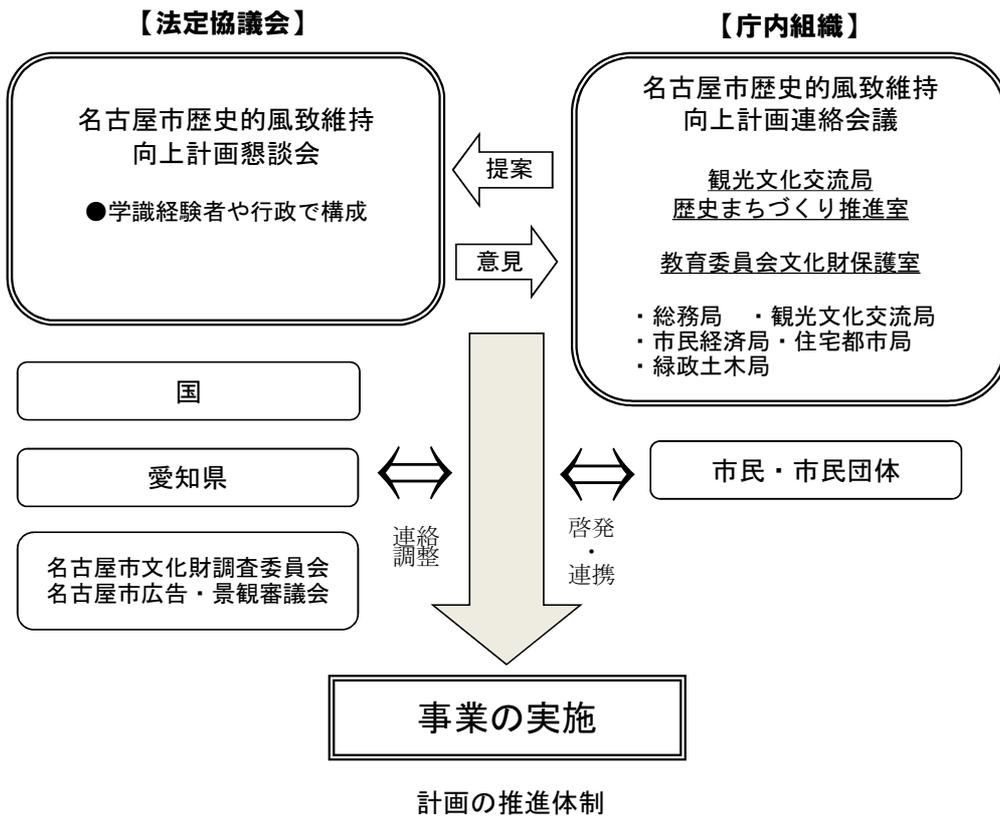
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年5月15日に「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。

| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|------|--------|---|
| 景観計画 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

- ・都市景観形成地区における届出件数 [平成27年度] 473件 [平成28年度] 465件
- ・都市景観重要建築物等への助成 [平成27年度] 1件 [平成28年度] 2件
- ・屋外広告物許可 [平成27年度] 10,123件 [平成28年度] 11,211件

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後、名古屋城眺望景観保全の取り組みについて、景観計画に位置付け、具体的な取り組みを進めていくとともに、四間道地区における景観誘導について検討を行う。 |

状況を示す写真や資料等

○名古屋城眺望景観保全の取り組み

名古屋城から概ね1kmの範囲を対象に大規模建築物等の限度高さや色彩、屋外広告物の色彩等について景観計画に基づく規制誘導を行う。

○四間道地区における景観誘導

地域住民の理解を得ながら、景観法に基づく「都市景観形成地区」に指定し、歴史的町並みと調和の取れた良好な景観形成の誘導を図る。



筋違橋からの眺望



東南隅櫓からの眺望



本丸からの眺望

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|---|--------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 名古屋城本丸御殿の復元 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成20年度～平成29年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(都市公園事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 近世城郭御殿の最高傑作でありながら昭和20年5月14日の戦災で焼失した名古屋城本丸御殿を、実測図等により、史実に忠実に復元する。また、復元過程を公開することにより伝統の知恵と技を学ぶ機会を提供する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 平成25年度は、玄関・表書院等復元工事の第1期部分(約1,000㎡)の公開を開始し、第2期部分(対面所等)の復元工事を実施した。平成26年度は、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施した。平成27年度は、引き続き、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施し、平成28年度の第2期公開に向けてカウントダウンニュースを発行するなど復元機運の盛り上げを図った。平成28年度は、対面所等復元工事の第2期部分(約1,160㎡)の公開を開始し、第3期部分(上洛殿等)の復元工事を行った。平成25～28年度ともに、現場見学会及び匠体験塾を開催した。 | | | |
| 進捗状況 | ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 史実に忠実な復元のため、関係諸機関と調整し復元方針の検討を行う | | |

状況を示す写真や資料等

【一般公開部分】



第1期 玄関・車寄(外観)



第1期 玄関一之間(床・違棚)



第2期 対面所

【平成28年度 復元工事状況】



素屋根見学通路から上洛殿を望む

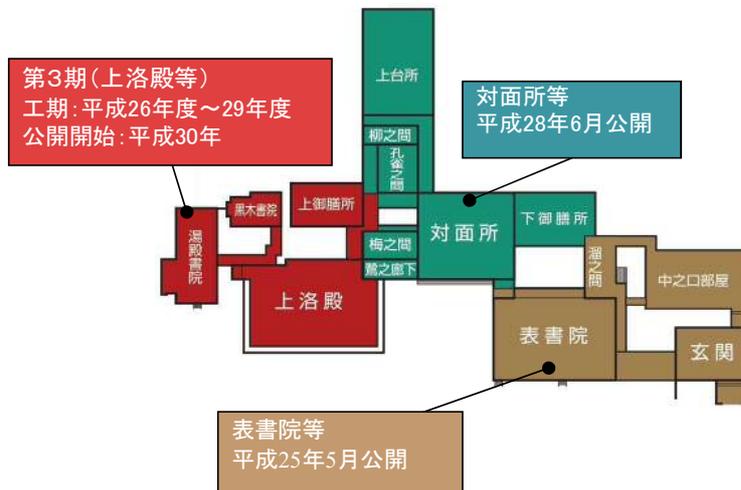


素屋根見学通路から湯殿書院を望む

【現場見学会】
(平成28年10月28日実施)
参加者1,023人



【今後の復元工事スケジュール】



【匠体験塾】
(平成29年2月18日実施)
午前の部(初級)21人
午後の部(中級)24人



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---------------------|--------|--|
| 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。
 平成26年度は、展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。
 平成27年度は、展示収蔵施設の基本設計等を行った。
 平成28年度は、展示収蔵施設の実設計等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

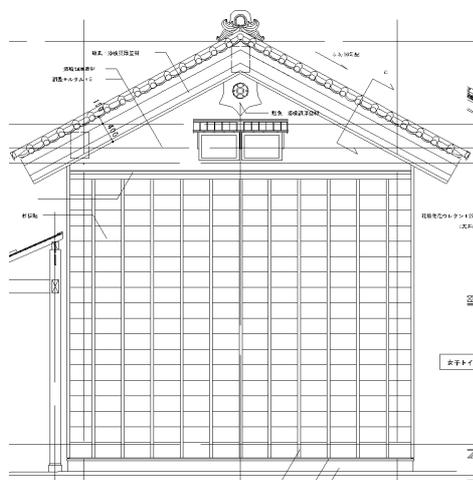
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

展示収蔵施設の外観等は、江戸後期に名古屋城内にあった米蔵に準拠するが、重要文化財を収蔵する施設としての機能確保を考慮しながら計画を進める。

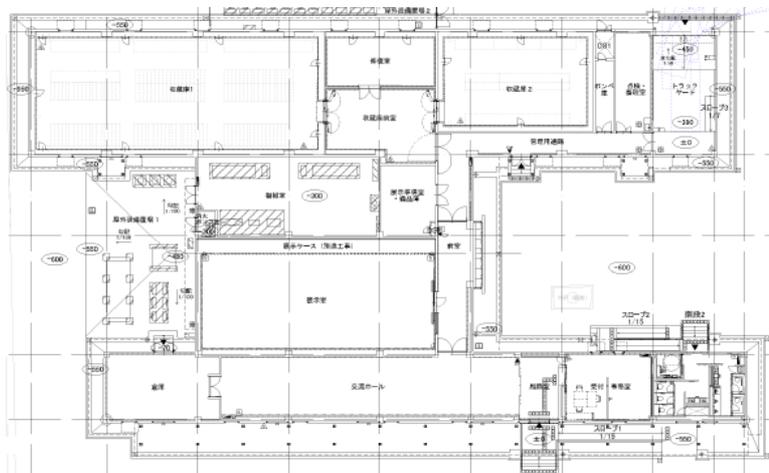
状況を示す写真や資料等



江戸後期の名古屋城内の米蔵
(立面 古写真)



米蔵の外観に準拠した展示収蔵施設
(立面図)



米蔵の外観に準拠した展示収蔵施設
(平面図)

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 名古屋城二之丸庭園の整備 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成25年度～ | | |
| 支援事業名 | 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 平成25・26年度に、石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、平成26年度には、明治期に削平された権現山の盛土復元並びに笹巻山の崩壊した石組の修理を行った。 | | | |
| 平成27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の築山修復を行った。 | | | |
| 平成28年度は栄螺山の盛土修復及び権現山西側の築山の修復を行った。 | | | |
| 平成25～28年度ともに、発掘調査現地説明会を開催した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 国指定名勝庭園区域の拡大に向けて、関係諸機関と調整中。 | | |

状況を示す写真や資料等

【平成28年度】



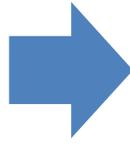
盛土修復前(栄螺山)



盛土修復後(栄螺山)



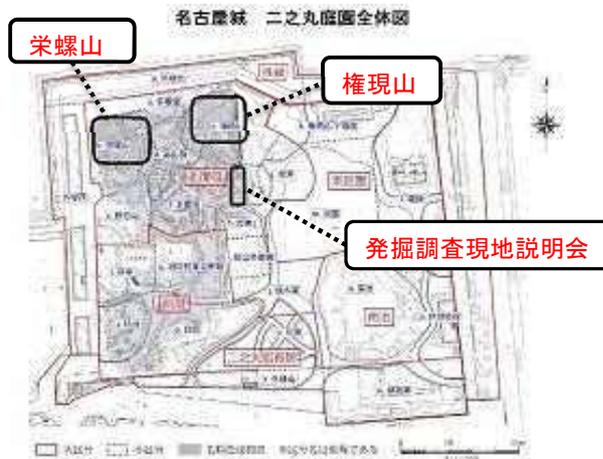
盛土修復前(権現山)



盛土修復後(権現山)



発掘調査現地説明会の開催
 9月26日及び27日の2日間
 各午前・午後の計4回
 参加者数は延べ360人



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 現在の状況 |
|-----------|--------|---|
| 名古屋城石垣の整備 | 平成28年度 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 昭和50年度～

支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

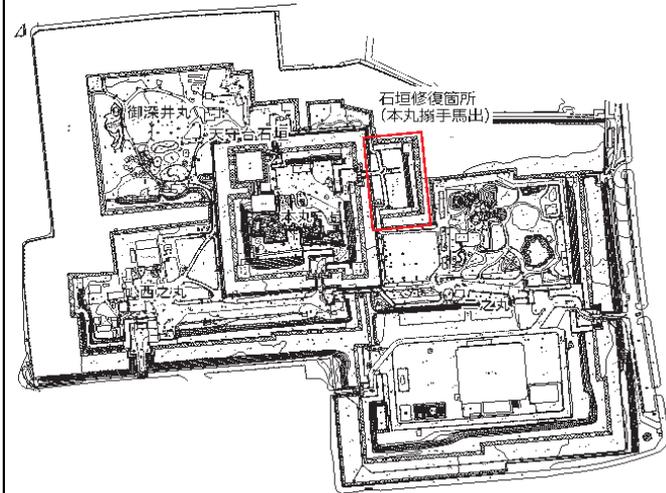
計画に記載している内容 特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大きな孕みが見られた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。平成28年度は、石垣前面の地盤補強工事を実施した。平成25～28年度ともに、修復現場見学会を開催した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 積み直す際の石垣の勾配など修復計画について、関係機関と調整しながら検討を進める。 |

状況を示す写真や資料等



石垣整備箇所(本丸搦手馬出)



石垣修復現場見学会状況
(2月11日実施、122名参加)



修復工事前の石垣(平成14年度)



修復工事中の石垣(平成28年度末)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

常設展示のほか、企画展及びミニコンサートなどのイベントを開催した。

●平成28年度入館者 78,375人(平成29年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

これまで以上に費用対効果が高いPR手法の選択のため、より経済的かつ効果的な広報媒体・広報ツールのリサーチ及び活用が必要

状況を示す写真や資料等

●企画展

「半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展」 平成28年6月17日～7月10日 入館者 4,636名
 「夏休み企画展 かけ足で知る名古屋の四百年」(平成28年7月16日～8月31日 入館者 8,216名
 「名古屋まつりポスター展」 平成28年9月17日～10月16日 入館者 6,556名

●主なイベント

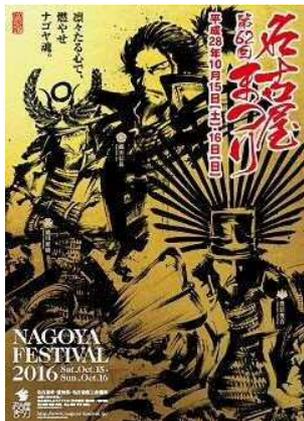
「歩こう!文化のみち」 平成28年11月3日 入館者 1,945名
 「オータムコンサート」 平成28年11月19日 入館者 436名
 「スプリングコンサート」 平成29年3月18日 入館者 1,970名



歩こう!文化のみち



半世紀前の名古屋のまちかど
写真パネル展



名古屋まつりポスター展



スプリングコンサート

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成16年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。 【定量的評価】 27年度 入館者数37,555人 貸室稼働率29% 利用者満足度100% 28年度 入館者数34,085人 貸室稼働率31% 利用者満足度100% | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
|  | |  | |
| ビデオ上映 「文化のみち全体の紹介映像」 | | 常設展示 「貞奴着物展示」(年4回入替展示) 写真: 貞奴直筆お雛様の模様入り羽織 | |
|  | |  | |
| 企画事業 「和のステンドグラスと猫の切り絵巡回展」 平成28年12月10日～12月14日 (期間総入館者数 552名) | | 企画事業 開館記念日「ふたばの日」 「凜」マリンバ&ピアノが奏でるコンサート 平成29年2月8日 (当日入館者数 1,026名) | |

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|---------------|--------|---|
| 文化のみち榑木館の管理運営 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち榑木館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物である文化のみち榑木館を平成21年7月17日から一般公開している。文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】

27年度 入館者数17,622人 貸室稼働率48% 利用者満足度97%

28年度 入館者数16,282人 貸室稼働率30% 利用者満足度96%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていくことが必要である。

状況を示す写真や資料等



常設展示
「文化のみち」における近代建築物の保存と活用



企画事業
尾張なごや なつかし瀬戸電写真館
平成28年6月15日～26日



企画事業
愛知百鬼夜行展
平成28年8月5日～14日



企画事業
開館7周年記念・榑木館ジャズ生演奏
平成28年7月16日 参加者数92人

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～平成35年度

支援事業名 市単独事業 ※名古屋市分のみ

計画に記載している内容 名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市役所本庁舎の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、平成19年度から実施している庁舎開放イベント(11月3日)を実施するとともに、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、平成28年度は閉庁日のガイドツアーを3回実施し、計314名が参加した。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 :平成28年11月3日(祝・木)
 開催時間:午前9時30分～午後4時00分
 入場者数:3,300人 ※天候の影響あり

(参考)過去3年間の入場者数

| | |
|--------|--------|
| 平成25年度 | 6,600人 |
| 平成26年度 | 7,100人 |
| 平成27年度 | 5,900人 |



●庁舎見学の受け入れ実績

| | |
|--------|------------|
| 平成28年度 | 39団体(611名) |
|--------|------------|

(参考)過去3年間の受け入れ実績

| | |
|--------|------------|
| 平成25年度 | 52団体(758名) |
| 平成26年度 | 16団体(333名) |
| 平成27年度 | 41団体(868名) |



●庁舎開放イベントの様子

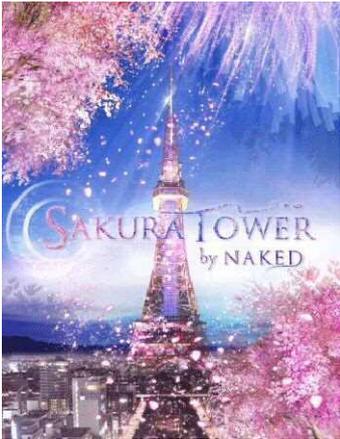
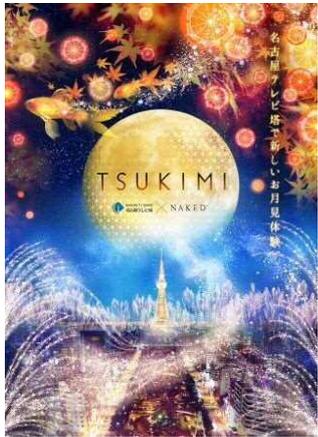
●平成28年度ガイドツアー実施結果

開催日 :平成28年5月21日(土)
 平成28年7月24日(日)
 平成29年2月4日(土)
 開催時間:①午前10時30分～
 ②午後1時00分～

参加者総数:314名
 ※応募総数520通



●ガイドツアーの様子

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成22年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 日本初の集約電波塔であり、登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。 | | |
| 夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベントを季節ごとに内容を変えて実施(年4回) | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| ■季節ごとにプロジェクションマッピングの内容を変えて実施 名称 SAKURA TOWER by NAKED 日程 平成28年3月26日(土)～5月29日(日) | | | |
|  | | 名称 ハイパータワー 夏祭り FIREWORKS by NAKED 日程 平成28年7月16日(土)～9月4日(日) | |
|  | | | |
| 名称 名古屋テレビ塔 × NAKED 「TSUKIMI」 日程 平成28年9月17日(土)～11月6日(日) | | 名称 STAR LIGHT FANTASIA by NAKED 日程 平成28年11月11日(金)～平成29年1月31日(火) | |
|  | |  | |

| | | |
|--------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 守山区上志段味地区に残る志段味古墳群の保存・活用のため、一部の古墳の復元整備を行うとともに、各種施設を適宜整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「歴史の里」基本計画(平成26年3月策定)、古墳の保存管理計画(平成27年3月策定)に基づき、古墳の保存復元や緑地整備を行った。

| | |
|--|-----------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後、第2期整備に向け、調査及び整備計画の策定を行う。 |

状況を示す写真や資料等



(平成28年2月時点)



(平成29年3月時点)

志段味大塚古墳(完全復元完了)

【平成28年度実施の古墳整備の事業内容】

- 志段味大塚古墳－埴輪列・埋葬施設の復元、散策路の整備等
- 白鳥塚古墳－葺石の一部復元、案内サインの設置等
- 勝手塚古墳－盛土流出の防止措置等
- 東谷山白鳥古墳－石室の漏水防止、案内サインの設置等

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|--|--|--------|---|
| 本町城下町歴史案内板等整備事業 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成26年度～平成30年度 | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、歴史案内板の設置、スマートフォンと連携した情報提供等、本町通周辺の環境整備を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 城下町の歴史を楽しみながら知ってもらうため、(公財)名古屋まちづくり公社が養成するなごや歴まちサポーター(名古屋歴史まちづくり市民推進員)の主催でまち歩きイベントを開催するとともに、スマートフォンアプリによる情報提供を実施した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 地域や関係機関が本町通の歴史を伝える案内板を整備していることから、整備方針について再検討が必要である。現在は町の成り立ちや身近な歴史資産を広く知ってもらう啓発イベントを継続的に実施している。 状況を示す写真や資料等 | | |



西別院

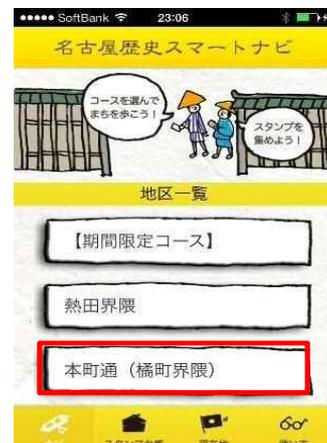


栄国寺

「橋町歴史まち歩き」
 平成28年4月24日(日)開催
 参加人数:71名



橋町界限



「名古屋歴史スマートナビ」画面

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|-------------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 金シャチ横丁構想の推進 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 開府以降400年間に培ってきた名古屋の文化(歴史、生活、産業技術)と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」「知って」「体感・体験」できる空間づくりを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、平成24年度に策定した「世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想」の実現に向けて、構想の事業化検討調査を実施した。名称は公募により「金シャチ横丁」に決定した。また、整備候補地にて埋蔵文化財の試掘調査を行うとともに、将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を東門側で実施した。平成26年度は、整備候補地にて埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、民間事業者を対象にした「事業説明会」を実施し、整備候補地にて将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を正門側で実施した。平成27年度は、公募条件の検討を行ったうえで、「金シャチ横丁第一期整備事業提案」の公募を開始した。平成28年度は、金シャチ横丁第一期整備の事業者を決定し、工事を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応

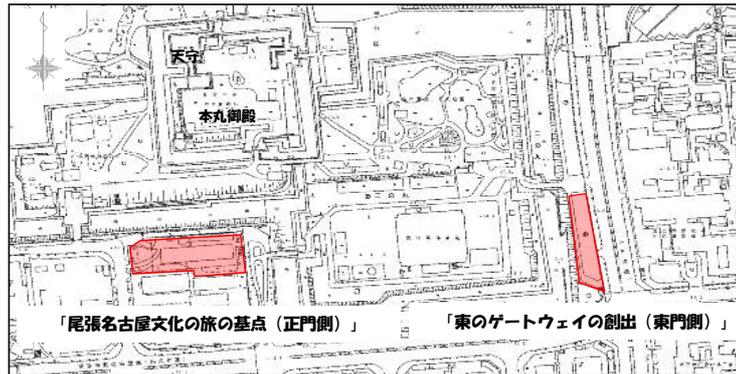
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

金シャチ横丁独自の魅力創出について、運営事業者と連携しながら検討を行う。

状況を示す写真や資料等

金シャチ横丁構想の段階的な整備の第一段階として、「尾張名古屋文化の旅の基点(正門側)」及び「東のゲートウェイの創出(東門側)」の2箇所の区域において、営業施設の事業計画、建設及び管理運営に関する提案を募集し、事業者を決定した。建物のイメージパース及び28年度のスケジュールは、以下のとおりです。



名古屋城周辺図



正門側



東門側

※いずれも整備イメージです。

【金シャチ横丁第一期整備事業スケジュール(28年度)】

- ・事業者の決定 … 平成28年7月4日
- ・基本協定の締結 … 平成28年8月8日
- ・実施協定の締結 … 平成29年1月31日
- ・公的施設譲渡等契約 … 平成29年3月16日
- ・工事開始 … 平成29年3月16日～

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区) | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榎木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に基づいた工事、伝統的建造物以外の建造物は修景基準に基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成28年度は1件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は3件。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

- 建物を新築する際に、道路境界に門・塀を設置するよう指導を行った。
平成28年度の指導・助言件数は3件。



白壁・主税・榎木地区の町並み
江戸時代以来の武家屋敷の地割を残しており、門・塀からなる屋敷景観と近代洋風建築が建ち並ぶ町並みを形成している。

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的町並み保存事業(四間道地区) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 昭和61年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 伝統的な建造物は修理基準に基づいた工事、伝統的建造物以外の建造物は修景基準に基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成28年度は3件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は4件。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等

■町並み保存事業(四間道地区)の実施例



【修理前】



【修理後】

※町並み保存地区の伝統的建造物に特定されている主屋の外壁塗替え工事



| | | | |
|------------------------------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 天王祭などで山車が曳き出される東区筒井地区において、歴史的建造物である建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、祭りの背景となる歴史的建造物周辺の景観を向上させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は、電線管理者と協議を進め、電線共同溝の詳細設計を実施した。
 平成27年度は、道路の北側に電線共同溝を設置した。
 平成28年度は、道路の南側に電線共同溝を設置した。

| | |
|--|-------------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後、平成29年度中に電柱及び電線を地中化する予定である。 |

状況を示す写真や資料等



建中寺前の様子

| | | | |
|----------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 徳川園の管理運営 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

徳川園 観月会



和舟飾りを龍仙湖に浮かべ、十五夜と十三夜を鑑賞する観月会を行った。(9/15十五夜、10/13十三夜)お月見だんごの装飾や名古屋市の一部に残る温かな風習「お月見どろぼう」を催事として実

鍋屋上野町源氏天流棒の手



名古屋市指定無形文化財、郷土芸能「棒の手」の演技を上野棒の手保存会の協力で実施した。(11/3)

「尾張名古屋の礎」トークショー



徳川美術館、東海ラジオ等との連携企画として、初代藩主義直公と二代藩主光友公にまつわる話題についてのトークショーや朗読劇を行った。(11/19)

黒門前 松飾り



江戸時代の尾張名古屋の風習に基づいた門松を黒門前に設置し、作成風景の実演と展示を行った。(12/13)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 平成28年度 |
|---|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 蓬左文庫の保存と公開活用 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成16年度～ | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | |
| 計画に記載している内容 | 尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進めている。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示、催事についても積極的に実施した。 特に今年は徳川美術館とともに開館80周年を迎えるとともに、両館の所蔵資料の原点である徳川家康没後400年でもある。記念の年を意識し、名品を満載した展覧会を立て続けに開催し、催事についても充実した内容となった。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 徳川美術館本館を耐震工事により閉鎖したため、年間を通じて蓬左文庫をメインの展示会場にした企画とし、徳川美術館通常展との関連を高めた運営をした。刀剣ブーム・城ブームを取り込んで熱心な観覧者が増加した。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| 閲覧室 閲覧室利用者数 1,712人 閲覧件数 1,525件(市内 715件 県内 284件 県外 526件) 閲覧冊数 7,707冊 参考質問 394件 展覧会 特別展 平成28年4月16日(土)～5月29日(日) 春季特別展「ぶらり浮世絵散歩—平木名品コレクション—」 観覧者数 38,624人 (1日平均 1,016人) 平成28年9月19日(土)～11月8日(日) 夏秋季特別展 「信長・秀吉・家康—それぞれの天下取り—」 観覧者数 46,457人 (1日平均 893人) 企画展 平成28年7月14日(木)～9月11日(日) 「ジャパン・デザイン」展示室1・2 観覧者数 20,859人 (1日平均 596人) 平成28年9月15日(木)～11月6日(日) 「ザ・ベスト@トクガワ」展示室1・2 観覧者数 36,294人 (1日平均 789人) 平成28年11月9日(水)～12月14日(水) 「やまと絵うるわし」展示室1・2 観覧者数 23,617人 (1日平均 762人) 平成29年1月4日(水)～2月5日(日) 「美しきかな」展示室1・2 観覧者数 12,875人 (1日平均 444人) 平成29年2月10日(金)～4月9日(日) 「日本最大の婚礼調度—さちぎみ様のお嫁入り—」 観覧者数 40,612人 (1日平均 944人) |  <p>特別展</p>  <p>企画展</p> |  <p>ガイドツアー</p> |
| 講座・講演会等 10月5日 文化財ガイドツアー—貞祖院・養念寺・禅隆寺・圓勝寺をたずねて 27人 10月8日 文化財ガイドツアー—法輪寺・浄蓮寺・西蓮寺をたずねて 26人 11月1日 古典の日記念 平家琵琶で親しむ『平家物語』 160人 2月9日 講座「虫に出した俵約令？」 39人 2月23日 講座「『“北海道”の名付け親・松浦武四郎と水野正信』 65人 3月16日(木) 講演会「激動の時代を映す鏡—『青窓紀聞』と幕末の尾張藩—」 97人 |  <p>古典の日</p> |  <p>講演会</p> |
| 催事 4月3日 第11回 桜・二胡コンサート2016 2,500人 6月5日 徳川園山車揃え 雨天のため中止 11月1日～11月8日 蓬左文庫「古書市」 1,341人 11月3日 歩こう!文化のみちスタンプラリー 872人 2月8日～3月5日 雛巡りスタンプラリー 3,977人 | | |

| | | |
|---------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 堀川の総合整備 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)

計画に記載している内容 堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守る。

平成28年度 護岸整備延長 約0.5km

平成28年度 河道掘削量 約6千m³

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

【護岸整備】

貴重な水辺の景観を維持するため、護岸整備を行っている流域治水対策河川事業を実施。



整備前



整備後



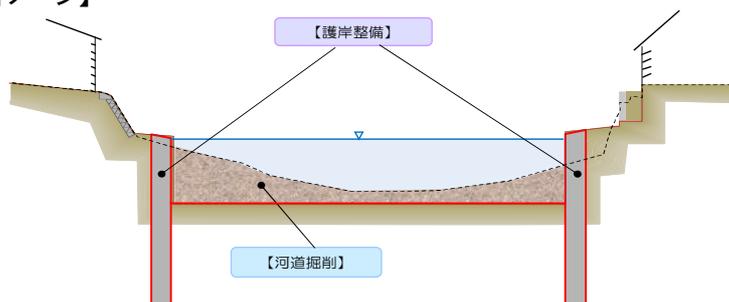
護岸整備状況

【河道掘削】



河道掘削状況

【整備イメージ】



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|-------------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 尾張名所図会看板の整備 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。
 【設置基数】 24年度…2基、26年度…2基、27年度…2基

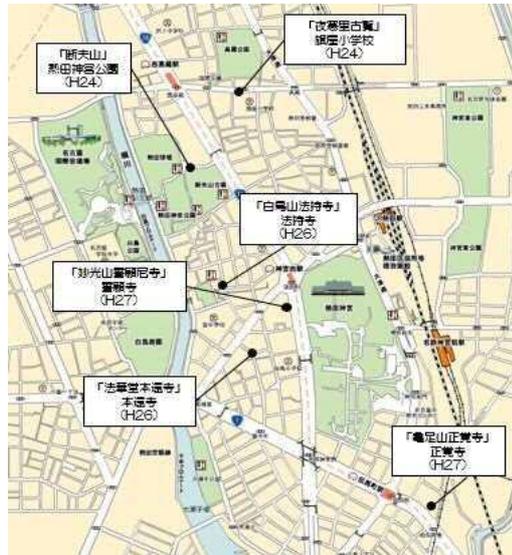
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○設置状況



【熱田神宮公園】



【旗屋小学校】



【法持寺】



【本遠寺】



【誓願寺】



【正覚寺】

| | | |
|-------------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 各拠点地区や周辺施設を結ぶネットワークルートを設定し、「歴史の里」全体の案内版やサイン、古墳の説明板等のネットワーク化のために必要な設備を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東谷山散策路入口や道路等に、案内サインを設置した。

| | |
|--|---------------------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 案内板、サイン等の効果的な設置位置等について、さらに検討を行う必要がある。 |

状況を示す写真や資料等

東谷山散策路案内サイン



①道路案内サイン(平成29年3月設置)
上志段味交差点北西に設置



②東谷山散策路案内サイン(平成29年3月設置)

設置場所



| | | |
|---------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 中川運河の再生 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

| | |
|-------------|---|
| 事業期間 | 平成24年度～(堀止緑地の整備は平成33年度までを予定) |
| 支援事業名 | 防災・安全交付金(港湾改修事業、緑地等施設整備事業)※堀止緑地の整備について |
| 計画に記載している内容 | 名古屋の暮らしとモノづくりの発展を支えてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生などに取り組む。 |

| | |
|---|--|
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| <ul style="list-style-type: none"> 堀止緑地の整備 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 造成工事(西側緑地) / 平成28年度 緑地整備(西側約0.6ha、通路舗装や植栽等) 護岸改修 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 護岸補修工事(約40m) / 平成28年度 護岸補修工事(約100m) | |

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



【堀止緑地の整備】



【護岸改修】

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|---------------------------|--------|---|
| 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年6月に策定した「栄地区グランドビジョン」に基づき、平成28年度は都心部のシンボリックな公共空間である久屋大通について、都心に相応しい統一感と個性が両立した空間として再生するため、各分野の有識者や専門家の意見を聴取する懇談会(久屋大通再生有識者懇談会)を開催し、懇談会から「久屋大通のあり方」の提言を受けた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

懇談会からの提言に基づき、久屋大通(北エリア・テレビ塔エリア)再生事業において、民間提案を受けるための条件を具体的に検討していく。

状況を示す写真や資料等

■久屋大通再生有識者懇談会を開催

【開催日】 第1回:5月30日 第2回:7月29日 第3回:8月19日 第4回:11月1日 第5回:2月6日

久屋大通再生有識者懇談会の様子

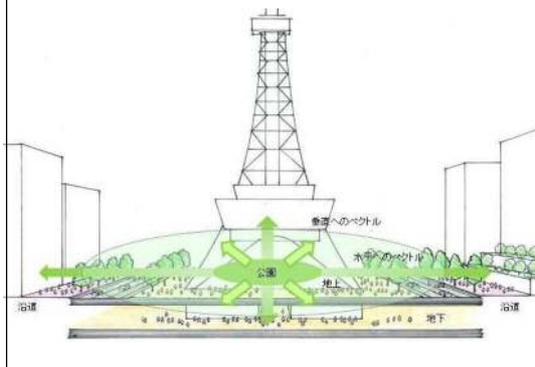


「久屋大通あり方」提言より抜粋

公園周辺の一体的な空間利用



地下街や地下鉄駅と地上との連続性を強化



<テレビ塔エリア内広場の将来イメージ>



| | | |
|----------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に298基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。平成28年度は、標札の説明文の修正や補修等を実施した。
 また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を設置、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を行ったり、案内板の補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

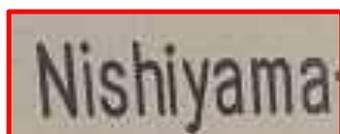
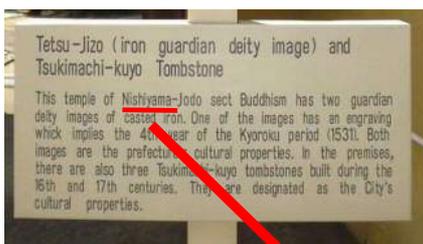
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

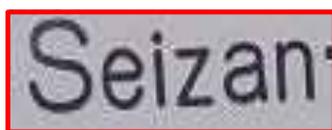
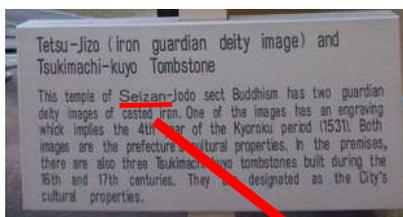
設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板がある。計画的に補修を進めていく。

状況を示す写真や資料等

「史跡名勝標札」説明文の修正
 「西山浄土宗」の読み方の誤りを修正

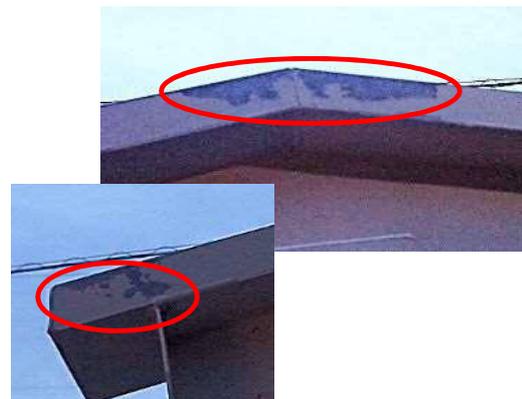


【施工前】



【施工後】

「史跡散策路名称標札」の補修



【施工前】



【施工後】

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--------------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的建造物の登録・認定 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計161件、認定資産は計61件となった。
 登録・認定資産等の所有者に対する技術的支援として、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を、平成28年度9件実施した。
 認定資産の所有者に対する経済的支援として、改修工事費用の助成を、平成28年度2件実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」を達成するため、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

| 年度 | 登録 | 認定 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|
| H23 | 50 | 35 | 85 |
| H24 | 43 | 16 | 59 |
| H25 | 37 | 6 | 43 |
| H26 | 8 | 4 | 12 |
| H27 | 9 | 0 | 9 |
| H28 | 14 | 0 | 14 |
| 合計 | 161 | 61 | 222 |

■技術的支援の実績件数

| 年度 | 件数 |
|-----|----|
| H23 | 6 |
| H24 | 9 |
| H25 | 6 |
| H26 | 5 |
| H27 | 6 |
| H28 | 7 |
| 合計 | 39 |

■経済的支援の実績件数

| 年度 | 件数 |
|-----|----|
| H23 | 2 |
| H24 | 1 |
| H25 | 4 |
| H26 | 3 |
| H27 | 1 |
| H28 | 2 |
| 合計 | 13 |

■登録地域建造物資産(平成28年度登録物件(一部))



第153号 懐石 志ら玉



第158号 (有)亀吉廣菓舗



第159号 喫茶ライオン

| | | | |
|-------------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| なごや歴まちびとの派遣 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行った。

【派遣件数】平成28年度:9件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

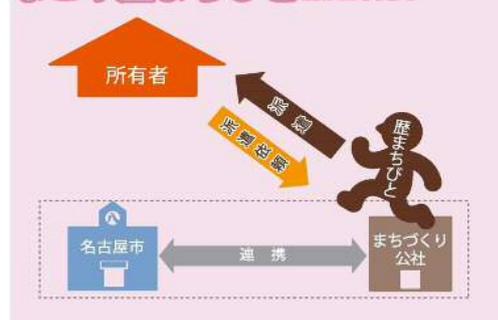
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの追加養成を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■派遣実績

| 年度 | 件数 |
|-----|----|
| H23 | 6 |
| H24 | 9 |
| H25 | 6 |
| H26 | 5 |
| H27 | 6 |
| H28 | 7 |
| 合計 | 39 |

■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■建物調査の様子



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|----------|--------|---|
| 文化のみちの推進 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成11年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |



文化のみち二葉館



文化のみち榎木館

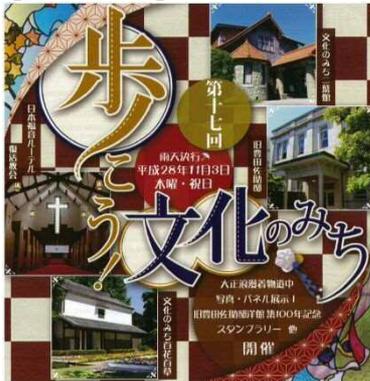


旧豊田佐助邸

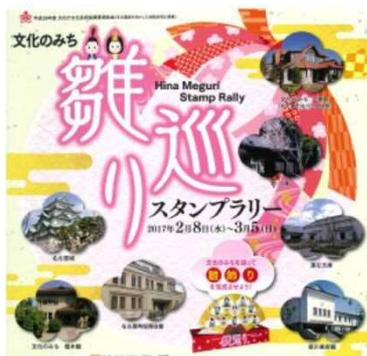


旧春田鉄次郎

【実施イベント】



「第17回歩こう！文化のみち」
平成28年11月3日
(参加者数:24,716人)



「文化のみち雛巡りスタンプラリー」
平成29年2月8日～3月5日

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 「歴史の里」整備事業(公開活用事業) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成26年度～平成30年度 | | |
| 支援事業名 | 文化財保存事業費関係国庫補助 | | |
| 計画に記載している内容 | ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りや連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを要請し活用する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 整備が進んだ「歴史の里」を活用して現地で当時の生活等を体験するイベントを開催した。ショッピングセンター等でも近隣の高校と連携し体験学習講座を実施した。また、ガイドボランティアは毎月小学校等からのガイド依頼がきており、その役割を果たしている。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 施設が徐々に完成してきているため、今あるものを活用したイベントを検討する必要がある。 | | |

状況を示す写真や資料等



古代体験秋まつり
平成28年11月5、6日実施
参加者数累計6,700人



ショッピングセンターでの埴輪作り体験
平成28年7月～3月



地元近隣幼稚園・保育園訪問
平成28年12月5日～19日
中志段味保育園、高蔵寺幼稚園、キルク幼稚園
上記3園を各2回訪問



歴史の里マイスター
平成28年4月～3月
累計18回開催

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 昭和47年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費 | | |
| 計画に記載している内容 | 指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付した。 (平成28年度市指定文化財等の保存団体48件へ補助を実施(民俗文化財などは国の補助事業も活用)) (平成26年度実績:48団体、平成27年度実績:39団体) | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。 | | |

状況を示す写真や資料等

深沢第3号墳保存管理事業
(古墳の保存のため、除草・樹木剪定等を実施)

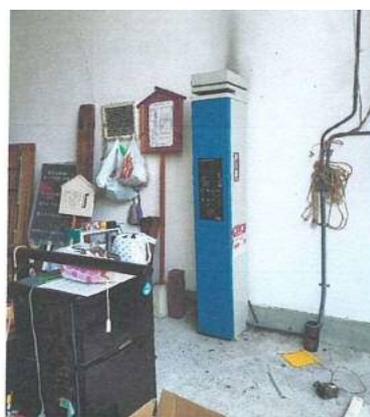
除伐・除草事業前



除伐・除草事業後



布袋車山車庫の防災設備設置事業
(布袋車山車庫の防災設備設置事業の実施)



| | | | |
|--|--|-------------------------|---|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| | | 項目 | 現在の状況 |
| | | まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく、地域まちづくりを支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。

H26サポート制度活用団体 13団体

H27サポート制度活用団体 12団体

H28サポート制度活用団体 9団体

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

地域まちづくりに取り組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。

状況を示す写真や資料等



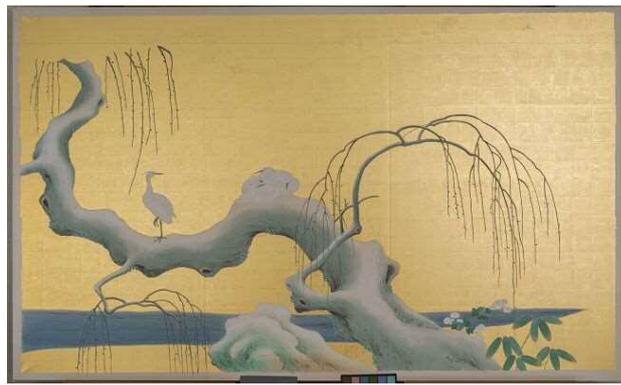
≪ふるさと徳重まちづくり会≫
 まちづくり構想を策定するために、コミセン祭りの来場者へのアンケート調査を実施



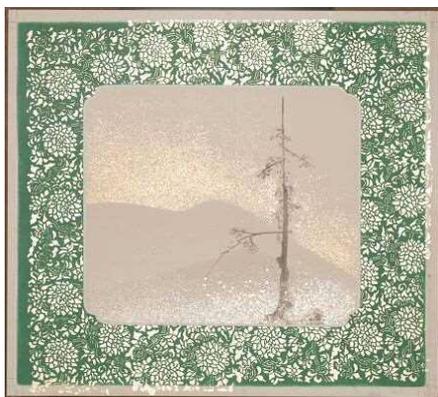
≪なごや寺町まちづくり協議会≫
 地区内の寺社や歴史的な建造物などをめぐるまちめぐりガイドツアーを実施

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成4年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【平成28年度 制作画面(一部)】



鷺之廊下壁貼付絵



上洛殿上段之間天井板絵

平成28年度末 進捗率 47% (1,325面中618面完了)

| | | | |
|--|---|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 昭和61年度～ | | |
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存整備費補助金 | | |
| 計画に記載している内容 | 国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| 【平成28年度 修理画面(一部)】 | | | |
|  | |  | |
| 上洛殿一之間天井板絵 | | 上洛殿入側天井板絵 | |
|  | | | |
| 玄関杉戸絵(点検修理) | | | |

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|-------------|--------|---|
| 郷土ゆかりの文学資料室 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。
 〈平成27年度〉阿久根治子氏寄贈資料(44点)、浅野梨郷氏寄贈資料(55点)、近代文学史関係資料(298点)
 〈平成28年度〉中部圏短歌会寄贈資料(89点)、本田美保子氏寄贈資料(630点)
- 収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催
 〈平成27年度〉浅野梨郷展、阿久根治子展
 〈平成28年度〉現代中部短歌展、宗田理展、稲葉真弓展

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 文学資料(寄贈品)の調査・保存
 〈平成27年度〉
 ・阿久根治子氏寄贈資料…直筆原稿等はじめ1,261点
 ・浅野梨郷氏寄贈資料…直筆色紙等はじめ55点
 ・近代文学史関連資料…歌人直筆色紙、自費出版本はじめ298点
 〈平成28年度〉
 ・中部圏短歌会資料…会誌はじめ89点
 ・本田美保子氏寄贈資料…冊子はじめ630点



寄贈された資料

○文学関係企画展

- 〈平成27年度〉
 ・「名古屋歌壇の礎、浅野梨郷展」6月16日～7月20日 期間中入場者 2,886名
 ・「阿久根治子ー古事記に魅せられた女流作家」展 10月7日～11月11日 期間中入場者 5,833名
- 〈平成28年度〉
 ・「今を詠む人々～現代中部短歌～」展 6月1日～6月30日 期間中入場者 2,276名
 ・「宗田理 展—『ぼくらの七日間戦争』ができるまでとそれから—」展 8月3日～9月8日 期間中入場者 2,660名
 ・「稲葉真弓」展 10月13日～11月17日 期間中入場者 5,442名



企画展の様子



「稲葉真弓」展 チラシ

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---------------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 水上交通ネットワークの検討 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①市民をはじめとする多くの人に乗船機会を提供するため、体験乗船を行った。また、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図るため、水上交通網推進プラットフォームを開催した。

(平成27年度)

- ・中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催
- ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催

②中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査の実施に向け、運航事業者の公募等を行った。

(平成28年度)

- ・水上交通定期運航・モニタリング調査の運航事業者公募
- ・運航事業者と基本協定締結

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



| | | | |
|--|--|---|--------------------------------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 「ものづくり文化の道」推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成13年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。 | | ●当該地域の魅力のひとつである菓子産業を広く発信するために「西区も～やっこお菓子まつり」を開催した。 | |
| 開催場所 | 日時 | 体験者数 | 開催場所 |
| 円頓寺七夕まつり | 平成28年7月30日(土)・31日(日) 午後2時30分～午後7時 | 435人 | 庄内緑地 |
| 西区民おまつり広場 | 平成28年10月9日(日) 午前10時～午後3時 | 91人 | 平成28年10月9日(日) 午前10時～午後3時 |
| トヨタ産業技術記念館 | 平成28年12月17日(土) 午前10時～午後4時 | 118人 | 同時開催の西区民おまつり広場と合わせて 63,000人 |
| ●「ものづくり文化の道」エリアの小学校へガイドボランティアを派遣し、児童とまち歩きをしながら魅力の紹介をするとともに、地域への愛着と誇りを醸成する事業「ものづくりのまちへ語り部派遣します」を実施した。 | | | |
| 実施日 | 参加者 | 内容 | |
| 平成29年2月24日(金) | なごや小学校3年生 74人 | まち歩き・レポート作成など | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | イベントによってこの地域の盛り上げや魅力の発信を行っているが、経常的にこの地域を訪れて楽しんでもらうものが少ないことが課題である。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| ものづくり文化の館 | | | |
| | | | |
| 実演 | 展示 | 体験 | |
| ものづくりのまちへ語り部派遣します | | | |
| | | | |
| ガイドによる歴史的資産の紹介 | | 歴史的建造物の内部見学 | |
| 西区も～やっこお菓子まつり | | | |
| | | | |
| 菓子販売 | ボン菓子の実演 | ちびっこマジパン教室 | |

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成25年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | およそ400年前の清州越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・平成28年10月23日(日)に第41回堀川文化講座「名古屋城下のいまむかし 家康がつくった城下町から現代の名古屋へ」を開催。終了後「おから猫ドーナツ」を参加者に配布。参加者94名 ・平成28年11月15日～平成29年2月28日「堀川七橋界限スマホdeまちあるき」を開催。参加者57名 ・平成28年11月13日(日)第21回堀川文化歩こう会「あなたも知らない名古屋城三之丸界限を歩く」を開催。参加者50名 | | | |
| 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等



・第41回堀川文化講座
「名古屋城下のいまむかし 家康がつくった城下町から現代の名古屋へ」



・第21回 堀川文化歩こう会
「あなたも知らない名古屋城三之丸界限を歩く」

| | | |
|-----------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 熱田区役所における歴史資料展示 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年2回の展示替及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示を行いました。歴史資料の分類整理については、展示替え作業及び区民まつり、生涯学習まつりでの展示と並行して、デジタル化の作業を進めていきました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



展示の様子



団扇絵「文明開化七里の渡」



東海道五十三次「宮 熱田鳥居」

第15回展示
 近代の交通
 平成28年10月1日～平成29年3月31日
 江戸から明治にかけての新しい交通手段導入、熱田が果たした役割などについて展示



平成28年10月9日区民まつりの展示の様子

| | | |
|--------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 名古屋まつり | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和30年度～

支援事業名 市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）

計画に記載している内容 昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れ、知っていただくことを目的に名古屋まつりを実施した。

平成28年(第62回)名古屋まつり(平成28年10月15日(土)・16日(日)を中心に開催)

【主な事業】

- ・郷土英傑行列・山車揃・神楽揃などの豪華絢爛な時代行列を実施
- ・ご当地武将隊・ご当地アイドルによるステージや、なごやめしなどが集めた会場行事を実施

【人出】220万人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成28年(第62回)名古屋まつり
 日 程 平成28年10月15日(土)・16日(日)を中心に実施
 来場者数 220万人



出典 第62回名古屋まつり記録写真集(名古屋まつり協進会)

| | | |
|--|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助

計画に記載している内容 指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助するとともに、文化財公開活用事業を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



筒井町天王祭 神皇后車の車輪確認作業



鳴海裏方高欄欠損箇所の修繕方法指導とその後

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|--|---|---|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 伝統産業若手育成事業助成 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成5年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成26年度補助金交付件数:6件 ・平成27年度補助金交付件数:9件 ・平成28年度補助金交付件数:10件 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
|  | 享保年間に京都から伝わる。「手描友禅」と「型友禅」の二つの技法があり、単彩濃淡調の渋い色使いが特徴。 |  | 江戸期に尾張藩が作り始めた旗印などの染色品が起源。黒の美しさ・丈夫さに優れる。 |
| 名古屋友禅 | | 名古屋黒紋付染 | |
|  | 江戸期に宮大工や寺大工が専門製造を始め発展。宮殿御坊造を代表とする豪華な構造が特徴。 |  | 室町時代から生産。明治初期には貴重な輸出品となり、生産量全国一を誇った時期も。 |
| 名古屋仏壇 | | 名古屋提灯 | |
|  | 名古屋城の築城に携わった職人らが城下町に定着し、箆箭などを製造したのが起源とされる。箆箭の幅が広いのが特徴。 |  | 尾張近郊で採れる良質な木材を資源に、下級武士の内職として発展。多様な工程と、色鮮やかな仕上がりが特徴。 |
| 名古屋桐箆箭 | | 尾張仏具 | |

評価軸③-40

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|---------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 伝統産業新商品開発事業助成 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成5年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体)
 ・平成26年度補助金交付件数:2件 ・平成27年度補助金交付件数:4件 ・平成28年度補助金交付件数:3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



・補助金交付団体名
名古屋仏壇商工協同組合
 ・新商品名
「伝統的工芸品16号各宗向け」



・補助金交付団体名
名古屋提灯製造組合
 ・新商品名
「大型インテリアちょうちん」



・補助金交付団体名
尾張仏具技術保存会
 ・新商品名
「現代型三宝 その他各種」



三宝:神仏への供え物を載せる台。尾張仏具の一つとされる。

評価軸③-41

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 伝統産業製品PR事業助成 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成14年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成26年度補助金交付件数:3件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:2件) ・平成27年度補助金交付件数:4件(PR冊子等作成:4件) ・平成28年度補助金交付件数:6件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:2件) | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等



- ・補助金交付団体名
名古屋仏壇商工協同組合
- ・事業内容
第23回全国伝統的工芸品仏壇仏具展への出展

- ・補助金交付団体名
尾張仏具技術保存会
- ・事業内容
小学生向け社会科学習(巡回型体験学習会の実施)



- ・補助金交付団体名
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
- ・事業内容
若手職人を紹介したPRパンフレット作成

| | | | |
|----------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 名古屋市民芸術祭 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成2年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

参加公演事業では、伝統芸能などの4部門で参加を募り、部門ごとに市民芸術祭賞・市民芸術祭特別賞を授与した。
 (伝統芸能部門 参加公演数:㉔㉕㉖4公演 市民芸術祭賞:㉔該当なし ㉕該当なし ㉖該当なし 市民芸術祭特別賞:㉔1公演 ㉕1公演 ㉖1公演)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



狂言三の会公演
 日時:11月26日(土)
 会場:名古屋能楽堂

●参加公演事業(伝統芸能部門)

平成28年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 該当なし
- ・市民芸術祭特別賞 「第15回狂言三の会公演 十四世野村又三郎(精励賞) 斯道四十周年記念」

平成27年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 該当なし
- ・市民芸術祭特別賞 「筑前琵琶八洲流初代宗家 安倍旭洲招聘100年記念 第二部「尾張名古屋に蘇る筑前琵琶・久世旭如リサイタル」

平成26年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 該当なし
- ・市民芸術祭特別賞 「園美の会舞踊公演一部 第四回桜美の会」(奨励賞)

| | | |
|----------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成28年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| なごや子どものための巡回劇場 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和55年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもたちを対象とする伝統芸能の公演として、狂言の公演を実施。(平成28年度入場者数:323人)
 次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成28年度
- 狂言共同社「狂言がやってきた！」
- 8月17日(水) 天白文化小劇場
- 8月18日(木) 西文化小劇場
- (各日2回公演)

※入場料は大人・子どもとも700円



28年度公演チラシ(表)



28年度公演チラシ(裏)

28年度公演の様子



| | | 評価対象年度 | 平成28年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 名古屋市芸術文化団体活動助成 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 昭和48年度～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 伝統芸能分野について、28年度は申請1件、鑑賞団体への交付実績あり。 | | | |
| 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多いことや、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられるが、出来るだけ多くの団体に活用していただけるよう、今後もより効果的な周知方法を検討していく。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| ○補助対象となる団体 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、その間1回以上名古屋市市内での自主文化活動実績がある団体 ○補助対象となる事業 当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの ○補助対象とならない事業 ①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市外の会場で行う事業 など | | | |
| 補助対象となる事業 | | 補助金の額 | |
| 1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合 | | 会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。 | |
| 2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会 | | 会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とします。 | |
| 3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会 | | | |
| 4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会 | | 会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。 | |
| 5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業) | | 上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とします。 | |

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|---------------------------------------|--------|---|
| 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成26年中に追加指定を受けた志段味古墳群の発掘調査(勝手塚古墳)を行った。
- ・名古屋城下町の山車祭り総合調査について着手し、筒井町天王祭・出来町天王祭、若宮祭り等について現地調査を実施した。
- ・歴史文化基本構想を策定した。
- ・歴史文化基本構想に関連しパブリックコメントを実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

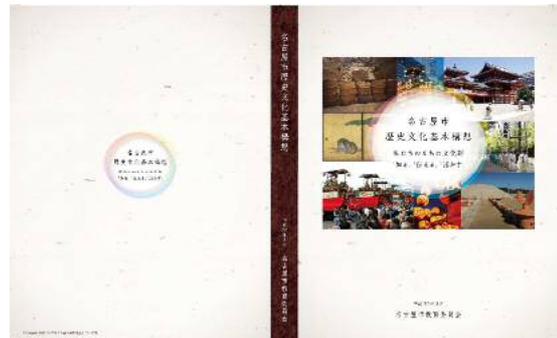
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

緊急的な修繕が多く、長期的な視点に立った修理計画等が今後計画されるべきである。

状況を示す写真や資料等



山車祭り総合調査(平成27年度～)
 上:中区 若宮祭り祭礼準備の調査
 下:東区出来町中之切幕調査



歴史文化基本構想
 (平成29年3月策定)

国の諮問機関である文化審議会の提言を受け、地域の文化財の保存活用の方針についてまとめ、文化財を未来に伝え、活かしていく指針として策定。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|---|--------|---|
| 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 ・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |

評価軸③-10、20参照(P12、P22)

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 古墳等の整備では、また、第2期整備に向けて、調査及び計画策定が必要である。また、全体ネットワーク化事業では、案内板、サイン等の効果的な設置位置等について、さらに検討を行う必要がある。 |
| 状況を示す写真や資料等 | |

○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) 評価軸③-10参照



(平成28年2月時点)



(平成29年3月時点)

志段味大塚古墳(完全復元完了)

○「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) 評価軸③-20参照



東谷山散策路案内サイン
(平成29年3月設置)



道路案内サイン

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|--|---|--------------------------|---|
| ・防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 指定文化財建造物の施設・所有者のうち、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて15施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に巡視し、災害等の報告を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 指定文化財建造物の件数が非常に多いが、順次ローテーションを図りながら巡視を継続していく必要がある。 | | |

状況を示す写真や資料等

文化財防火デー(平成29年1月26日)における防災訓練の実施



<覚王山日泰寺>



<徳興山建中寺>



<富部神社>



【平成28年度 文化財防火デー消防訓練実施施設(計15施設)】

覚王山日泰寺(千種区)、徳興山建中寺(東区)、黄雲山光音寺(北区)、善光寺別院願王寺(西区)
 願成寺・柳保育園(中村区)、大須観音寶生院(中区)、八事山興正寺(昭和区)
 熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、牛立八幡社(中川区)、知多山神社神楽保存庫(港区)、富部神社(南区)
 生玉稻荷神社(守山区)、服部家住宅及び有松・鳴海絞会館、碧海信用金庫有松支店駐車場一帯(緑区)
 明德寺(名東区)、仏地院(天白区)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|--|---|--------|---|
| 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援（保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等）、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 ・「歴史の里」整備事業（全体ネットワーク化事業） ・「歴史の里」整備事業（公開活用事業） ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など | 定期的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 志段味大塚古墳の整備完了に伴い、復元された埴輪や埋葬施設を活用した公開事業を行っている。ウォーキングイベントと協力した際は、一日に2,700人が参加した。また、歴史の里の広場においては、古代体験イベントを行い、二日間で6,700人が参加した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述） 国などの補助事業も有効に活用し、助成・支援に対応していく。また用具の修理等も長期的な視点に立って計画していく必要がある。普及・啓発の活動も地域との連携をより密にし取り組んでいく。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |



志段味大塚古墳の復元事業
約500本の埴輪を並べ、埋葬施設も再現した。



さわやかウォーキングと連携。歴史の里マスターというボランティアさんと協力し、現地ガイドを実施した。



近隣の幼稚園や保育園への訪問やショッピングセンターにおける埴輪作り体験など、積極的なPRを行った。



歴史の里の整備にあわせて、現地で古代体験学習を行った。
平成28年11月5日、6日 参加者数計6,700人

| 項目 | 評価対象年度 | 平成28年度 現在の状況 |
|--------------------------|--------|---|
| 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

- ・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①・②)
- ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①)
- ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(③・④)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査
 平成26年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを作成し、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布
 住宅都市局建築指導課が案内している重要事項調査シートに周知の埋蔵文化財包蔵地、国指定史跡を記載
 名古屋城跡西の丸地区発掘調査、名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、志段味大塚古墳発掘調査
 平成27年度:平成26年度に作成した文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布
 名古屋城本丸御殿跡周辺発掘調査、名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、名古屋城跡西の丸地区発掘調査の報告書作成、勝手塚古墳発掘調査、勝手塚古墳等レダ探査、東谷山12号墳測量調査、志段味古墳群の群集墳の分布調査
 平成28年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを新たに作成し、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)
 名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査(②)、名古屋城跡西の丸地区発掘調査(③)、大塚3号墳・白鳥5号墳・白鳥6号墳発掘調査(④)

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 周知の埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。 |

状況を示す写真や資料等

埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地(周知の埋蔵文化財包蔵地)において、地味を掘る工事を行う場合、工事着手予定日の60日前までに、文化財保護法に基づいて届出をすることが義務付けられています。無届けでの工事着手は違法行為となります。

名古屋市内の埋蔵文化財に関する情報は下記までお問い合わせください。

詳細につきましては、名古屋公式ウェブサイトでご案内しています。
 ◎埋蔵文化財の届出はこちら
<http://www.city.nagoya.jp/kuraai/sonogyo/24-27-1-0-0-0-0-0-0-0.html>
 ◎周知の埋蔵文化財包蔵地の地図はこちら
 『周知の埋蔵文化財包蔵地(名古屋山課発行者版)』
<http://www.city.nagoya.jp/kuraai/sonogyo/11-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

◎埋蔵文化財に関する問い合わせ先
 名古屋文化財部文化財保護課
 〒460-8628 名古屋市中区三丁目1番1号(名古屋駅前 西側5分)
 地下鉄山崎線(山崎)駅西口徒歩1分、地下鉄東山線(山崎)駅西口徒歩1分、名鉄線(山崎)駅西口徒歩1分
 電話番号 052-272-3269 ファックス番号 052-272-4003
 電子メールアドレス a3268@city.nagoya.jp

①埋蔵文化財届出啓発チラシ



②名古屋城二之丸庭園発掘調査



③名古屋城西の丸地区発掘調査



④大塚3号墳発掘調査

評価軸⑤
効果・影響等に関する報道

| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 |
|---------------------------|-------------|-----------------|
| 新たに対面所、下御膳所 本丸御殿 公開初日は大盛況 | 平成28年6月2日 | 中日新聞(朝刊) |
| 名古屋を鳴かず エイエオー！ 英傑行列出発 | 平成28年10月15日 | 中日新聞(夕刊) |
| 歩こう！文化のみち | 平成28年10月26日 | メ〜テレ「おもてなし隊なごや」 |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業のうち、特に新たな展開のあった事業や歴史まちづくりに関わるイベントについて、報道により市民の関心の向上につながったと考えられる。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|---|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし | |

状況を示す写真や資料等



平成28年6月2日 中日新聞(朝刊)



平成28年10月15日 中日新聞(夕刊)



平成28年10月26日 メ〜テレ「おもてなし隊なごや」

項目

観光客数の動向について

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりである(平成20年度から7年間で約49万4千人増)。また、本市全体の観光客入込数についても、増加傾向にある(平成20年度から7年間で約159万6千人増)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

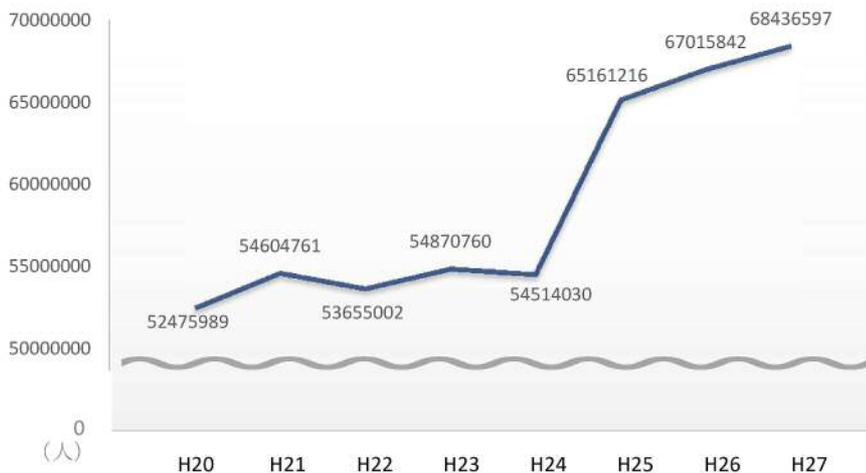
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

名古屋城入場者数の推移

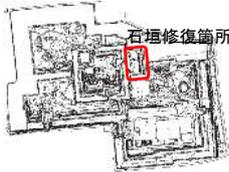


名古屋市観光入込客数の推移



出典:平成27年度名古屋市観光客・宿泊客動向調査(平成28年11月公表)

| 評価対象年度 | 26年度～28年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|----|-----|----|----|------|-----|----|-----|-----|---|---|----|-----|---|---|---|-----|----|---|----|----|-----|----|-----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| 計画に記載している方針 | <p>【歴史的建造物の保存等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、技術的・経済的支援及び啓発を行う。 ・指定・登録文化財、景観重要建造物等の制度を活用し、歴史的建造物の保存を図る。 ・名古屋城について、戦災で失われた建造物の復元整備等を推進し、歴史的・文化的価値を高めていく。 ・志段味古墳群について、残存する古墳の適切な保存・整備を実施し、公開活用を進める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画に記載している課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・所有者の高齢化や建物の老朽化に伴う、歴史的建造物の維持管理のための負担が大きい。 ・特に民間所有の身近な歴史的建造物については、その価値が認識されないまま取り壊されてしまうものも多い。 ・名古屋城について、本丸御殿の復元その他、二之丸庭園や石垣の修復・整備を進め、城郭全体の価値を高めていく必要がある。 ・志段味古墳群について、周辺地域の区画整理事業と協調する形での保存事業が必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応する進捗評価項目とその推移 | <p>■歴史的建造物の登録・認定</p> <p>身近な歴史的建造物を地域の資産として登録・認定し、なごや歴まちびとの派遣による専門家相談を行う他、認定物件については助成制度を設けている。</p> <table border="1" data-bbox="446 896 798 1064"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録</th> <th>認定</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H25</td> <td>130</td> <td>57</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>161</td> <td>61</td> <td>222</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="845 907 1045 1097">  <p>登録第136号 呉服糸り文(瑞穂区)</p> </div> <div data-bbox="1109 907 1308 1097">  <p>登録第159号 喫茶ライオン(中区)</p> </div> </div> <p>・認定助成件数</p> <table border="1" data-bbox="446 1142 606 1265"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="630 1142 821 1265">  <p>認定第58号 魚半別邸 洋館・和館 (熱田区)</p> </div> <div data-bbox="1045 1142 1348 1265">  <p>認定第47号 不朽園 (中川区)</p> </div> </div> <p>■景観計画 ・景観重要建造物等への助成</p> <table border="1" data-bbox="446 1355 606 1467"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="630 1355 798 1467">  <p>旧名古屋銀行 本店ビル(中区)</p> </div> <div data-bbox="997 1332 1356 1467">  <p>カトリック布池教会聖堂 (東区)</p> </div> </div> <p>■指定文化財(建物・史跡等)の保存修理事業</p> <p><市指定文化財等の保存団体への補助実施件数> H26:48件 H27:39件 H28:48件</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">➔</div>  <div style="margin-left: 20px;"> <p>建中寺本堂屋根西面工事</p> </div> </div> | 年度 | 登録 | 認定 | 合計 | ～H25 | 130 | 57 | 187 | H26 | 8 | 4 | 12 | H27 | 9 | 0 | 9 | H28 | 14 | 0 | 14 | 累計 | 161 | 61 | 222 | 年度 | 件数 | H26 | 3件 | H27 | 1件 | H28 | 2件 | 年度 | 件数 | H26 | 2件 | H27 | 1件 | H28 | 2件 |
| 年度 | 登録 | 認定 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～H25 | 130 | 57 | 187 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 8 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 9 | 0 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 14 | 0 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 累計 | 161 | 61 | 222 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 3件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 2件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 件数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 2件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 2件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---|--|
| | <p>■名古屋城本丸御殿の復元:外部評価のとおり</p> <p>■名古屋城二之丸庭園の整備 H26:・明治期に削平された権現山の盛土復元 ・笹巻山の崩壊した石組の修理 H27:・権現山山頂の社跡の遺構再現表示 ・石段の復元整備 ・権現山西側の築山修復 H28:・栄螺山の盛土修復 ・権現山西側の築山の修復</p>  <p>■名古屋城石垣の整備 ※本丸搦手馬出(からめてうまだし)北東部の石垣修復工事 H26,27:根石の調査 H28 :石垣前面の地盤補強工事</p>  <p>■名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備 H26:展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査 H27:展示収蔵施設の基本設計等 H28:展示収蔵施設の実施設設計等</p>  <p>■「歴史の里」整備事業:外部評価のとおり</p> |
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・登録・認定地域建造物資産については、歴史が身近に感じられるまちづくりの柱として、累計件数を増やしてきた。名古屋市総合計画2018における目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」の達成まで残り28件となっている。 ・指定文化財や景観重要建造物等の保存支援はもとより、こうした身近な歴史的建造物についての価値付けにより保存啓発を図り、歴史まちづくりの裾野を広げていく。 ・平成28年度より、歴史的建造物の保存活用のため、クラウドファンディングを活用した工事助成を実施。歴史的建造物の所有者等の負担軽減の新たな手法として期待される。 ・名古屋城の各整備事業について、発掘調査や修復工事の現場見学会開催を行う等、本丸御殿の復元機運とも合わせ、市民の関心を図りながら進めている。 ・「歴史の里」整備事業について、段階的な復元整備により、平成28年度までに大型前方後円墳の復元等が進められている。今後、区画整理事業による歩道整備により、拠点地区を結ぶ緑道が確保される予定である。 |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>■水上交通ネットワークの検討</p> <p>中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。</p> <p>H26:・中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催 H27:・中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催 ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催 ・中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査の実施に向け、運航事業者の公募 H28:・水上交通定期運航・モニタリング調査の運航事業者公募 ・運航事業者と基本協定締結 H26:・中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催 H27:・中川運河体験乗船及び七里の渡し体験乗船の開催 ・水上交通網推進プラットフォーム会議の開催 ・中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査の実施に向けた運航事業者の公募等 H28:・水上交通定期運航・モニタリング調査の運航事業者公募 ・運航事業者と基本協定締結</p>  |
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町並み保存事業は法的規制ではなく、現状変更の際の任意届出と修理・修景に対する補助金による景観誘導でありながら、助言・指導及び補助の集積により住民等の理解を得ながら保存に努めてきた。 ・有松地区については平成28年2月に伝統的建造物群保存地区制度を導入、平成28年7月には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、町並みの価値が全国的に認められることとなった。 ・保存地区以外でも、案内板等で点在する歴史的資源を繋ぐ取り組みが行われているが、「周遊ルート」として確立するには未だ啓発の取り組み等の積み上げが必要である。検討が進められている水上交通網により、歴史拠点周遊の実質化が期待される。 |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p> |

| <p>評価対象年度</p> | <p>26年度～28年度</p> | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|----|----|----|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|
| <p>計画に記載している方針</p> | <p>【歴史的建造物や町並みの活用と歴史まちづくりを支える人・仕組みづくり】 ・「なごや歴まちびと」を養成・派遣し、歴史的建造物の所有者を支援する。 ・歴史まちづくりへの参加を呼びかけるイベントの開催・情報発信を進める。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>計画に記載している課題</p> | <p>・歴史的建造物の保存活用に関する相談先についての情報発信 ・歴史的建造物に対する市民の関心の向上と積極的な参加 ・自主的な地域まちづくりの促進</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>対応する進捗評価項目とその推移</p> | <p>■なごや歴まちびとの派遣</p> <p>景観整備機構である(公財)なごやまちづくり公社が養成。登録・認定地域建造物資産等の所有者に対し、技術的な相談に対応している。(登録者累計:77名)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>派遣実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 30%;"> <p>主な相談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断 ・雨漏対策 ・改修方法 ・平面図作成 ・活用検討のための調査など </div> </div> <p>・なごや歴まちサポーターの養成</p> <p>身近な歴史的建造物の保存活用活動の主体として、(公財)なごやまちづくり公社が養成。を養成。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="text-align: center;"> <p>「橋町歴史まち歩き」 平成28年4月24日 (日)開催 参加人数:71名</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">西別院</p> <p>■文化のみちの推進</p> <p>名古屋城から徳川園に至る一帯において、文化のみち二葉館・文化のみち榎木館を始め、貴重な建築遺産の保存活用を進めている。 特に、毎年実施の「歩こう！文化のみち」は、こうした歴史まちづくりへの市民の関心の向上を図る機会となっている。</p> <p><「歩こう！文化のみち」参加者数> H26: 17,025人 H27: 32,391人 H28: 24,716人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>・その他、「文化のみち雑巡りスタンブラー」などのイベントも開催</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>■まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>地域まちづくりを推進する多様な団体に対し、支援を実施</p> <p><地域まちづくりサポート制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりアドバイザー派遣 ・地域まちづくり活動助成 ・地域まちづくりコンサルタント活用助成 <p>⇒制度活用団体 H26: 13団体 H27: 12団体 H28: 9団体</p> <p>■名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上</p> <p>平成26年12月に国の重要文化財(建造物)に指定されたた市役所本庁舎について、公開事業を実施し、市民に魅力を伝えている。</p> <p><庁舎見学の受け入れ団体数> H26: 16団体(333名) H27: 41団体(868名) H28: 39団体(611名)</p> | 年度 | 件数 | 人数 | H26 | 5 | 12 | H27 | 6 | 15 | H28 | 7 | 14 |
| 年度 | 件数 | 人数 | | | | | | | | | | | |
| H26 | 5 | 12 | | | | | | | | | | | |
| H27 | 6 | 15 | | | | | | | | | | | |
| H28 | 7 | 14 | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物の登録・認定制度と歴まちびとの養成を両輪で推進し、所有者への技術的支援の仕組みを確立してきた。 ・一方で、建物維持が困難である所有者と建物の活用者とをマッチングする仕組みづくりが課題となっており、各種専門家や団体と連携した取り組みの検討が必要である。 ・歴史的建造物や歴史的町並みを活かしたイベントなどでは、各種まちづくり団体を含め、市民が企画・運営等にも関わることができる場面をより増やし、歴史まちづくりへ積極的な参加を促していくことが必要である。 |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <p> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない </p> <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <p> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) </p> |

| | |
|------------------------|--|
| <p>評価対象年度</p> | <p>26年度～28年度</p> |
| <p>計画に記載している方針</p> | <p>【伝統行事・文化、伝統産業などの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや講演会等を通して伝統行事・文化、伝統産業への理解を深める。 ・伝統産業については、各種助成制度を活用し、担い手の確保と次世代への継承を図っていく。 |
| <p>計画に記載している課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事や伝統産業について、高齢化やコミュニティの希薄化等により担い手が不足し、保存・継承が困難になっている。 ・地域の歴史や文化の価値を認識する機会や場所が不足している。 ・伝統行事や伝統産業が市民にとってより身近な存在として受け入れられるような取り組みが必要である。 |
| <p>対応する進捗評価項目とその推移</p> | <p>■ 伝統産業若手育成事業助成</p> <p>伝統技術継承のため、若手技術者を育成する企業への助成を実施。 <補助金交付件数> H26:6件 H27:9件 H28:10件</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>名古屋黒紋付染(H26) 尾張藩が作り始めた旗印などの染色品が起源。黒の美しさ・丈夫さに優れる。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>名古屋扇子(H27) 江戸期に京都から伝えられる。白扇など実用的な男ものを主体として発展。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>名古屋提灯(H28) 室町時代から生産。明治初期には貴重な輸出品となり、生産量全国一の時期も。</p> </div> </div> <p>■ 伝統産業新商品開発事業助成</p> <p>伝統産業製品の需要開拓のため、現代感覚に合った製品開発を行う事業に対し助成を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「デザイン透映ちようちん」(H26)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「米櫃(おけのこめびつ)」(H27)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「現代型三宝」(H28)</p> </div> </div> <p>・名古屋では江戸時代、木曾榿(ヒノキ)を用いた桶の製造が盛んであった。 ・三宝は尾張仏具の一つとして発展。御供え物などに用いられる。</p> <p>■ 山車などの保存修理事業</p> <p>市内の無形・民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調等に係る補助とともに、専門家による現地での修繕方法の指導等を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  </div> <div style="width: 35%;"> <p>有松西町神功皇后車の車輪修繕修理前現地指導</p> </div> </div> <p>■ 名古屋まつり</p> <p>戦災復興を祝して昭和30年度から始まり、開催60回を超える郷土まつりとして定着している。 <来場者数> H26:224万人 H27:210万人 H28:220万人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> |

| | |
|--|---|
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・無形文化財や民俗文化財の修理等に対する助成の他、現代感覚に合った新商品開発や若手技術者の育成を行う伝統産業事業者への助成を実施し、伝統の保存と次世代への継承を図っている。 ・なごや祭りについては伝統的な山車揃え等の他、多くの人・世代に受け入れられるよう、現代的なパレードなども一部取り入れながら継承している。 ・伝統の継承については効果の定量化が困難である分、関心を持つための間口を広げ、多くの市民の理解を得ながら支援を行う必要がある。 |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 想定通り効果が発現している □ 今後発現が予想される □ 要対策検討 □ 現段階では判断できない <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画の見直しが不要 □ 計画の見直しが必要 <p>(見直しの理由・方針)</p> |

評価対象年度 26 年度～ 28 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①:

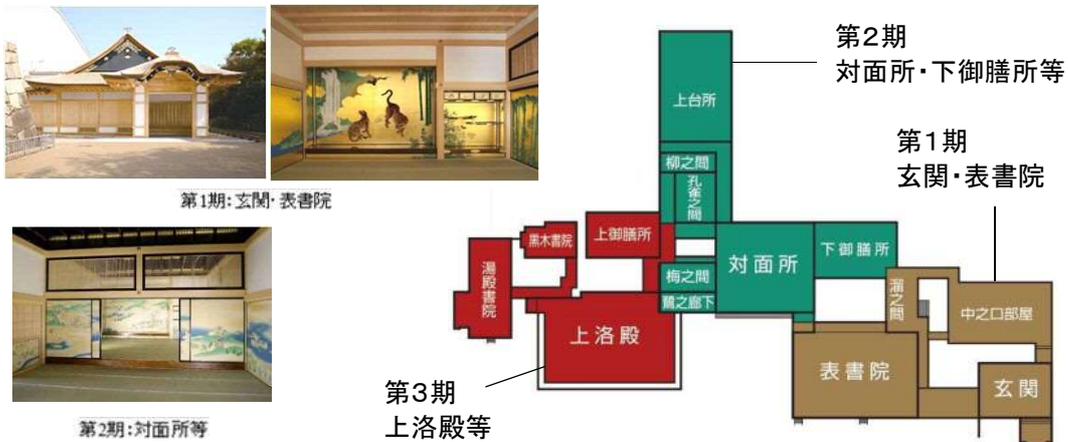
名古屋城本丸御殿の復元

(取り組み概要)

近世城郭御殿の最高傑作でありながら昭和20年5月14日の戦災で焼失した「名古屋城本丸御殿」を、実測図等残された豊富な史料により史実に忠実に復元しつつ復元過程を公開し、近世武家文化と匠の技を現代に伝えることにより、名古屋城の歴史的・文化的価値の向上を図る。
 復元工事の進捗状況としては、平成25年度に第1期公開として玄関・表書院等、平成28年度には第2期公開として対面所・下御膳所を公開し、現在は平成30年度の全体公開に向けて復元を進めているところである。

【経緯等】

| | | | |
|-----------|---------------|--------|------------------|
| 平成4年度 | 本丸御殿障壁画復元模写開始 | 平成19年度 | 実施設計 |
| 平成10～13年度 | 復元課題検討委員会 | 平成20年度 | 工事着工 |
| 平成14年度 | 本丸御殿積立基金開始 | 平成25年度 | 第1期公開(玄関・表書院等) |
| 平成18年度～ | 全体公開整備検討委員会 | 平成28年度 | 第2期公開(対面所・下御膳所等) |
| 平成18年度 | 基本設計 | 平成30年度 | 第3期公開(上洛殿等) |



(自己評価)

- ・復元工事は平成28年度までに第2期まで終了し、全体公開に向けて着実に事業が進んでいるところである。
- ・本丸御殿は現在も継続している市民などからの基金で、事業費の1/3以上である50億円以上を賄っており、市民等とも一体となって復元を行っている。
- ・平成21年度から復元中の建物を風雨から守る「素屋根」の内部や、木材加工場において復元中の建物や作業など伝統的な工法や匠の技を観ることが出来る見学通路を設置した。見学通路は公開中は自由に観覧することができ、多くの来場者に楽しんでいただいている。
- ・見学通路からは見ることが出来ない作業については、記録映像として本市において撮影し、編集した動画を名古屋城公式ウェブサイトにて常時公開しており、伝統工法の匠の技を学ぶ貴重な機会を提供している。
- ・本丸御殿の復元により名古屋城の入場者数も伸びており、本丸御殿復元工事が始まった平成20年度は約125万人であったが、第1期公開を迎えた平成25年度は約165万人であり、第2期公開前の平成27年度は約174万人であった。対面所・下御膳所が公開された平成28年度は、名古屋城の入場者数が前年比約13%増加しており、2月末現在で約173万人であり、190万人に届く勢いである。また、その入場者の多くが本丸御殿を訪れており、2月末現在で全体の約7割である120万人以上が訪れている状況である。
- 入場者の増加については、本丸御殿の公開だけでなく、外国人観光客の増加も要因の一つである。名古屋城は、日本最大級の城郭であり、城郭としてイメージしやすい天守閣、御殿、隅櫓などが一度に観覧できることが外国人に対しての魅力であると考えられる。
- ・名古屋城本丸御殿の価値としては、復元建物であるからこそ、障壁画や金具などを間近に観覧ができたり、写真撮影を行うことができるなど、国宝等ではできない観覧が可能なことや、史実に忠実かつ400年前の新品の状態に豪華絢爛な復元御殿を観覧できるのは名古屋城本丸御殿だけであり、観覧者からもまるで400年前にタイムスリップしたみたいというような感想を頂いている。
- ・今後も平成30年度の全体公開に向けて復元を進め、名古屋城の歴史的・文化的な価値を高めていくとともに、イベントやPRにより、さらに本丸御殿の魅力を発信し、国内外からの来場者誘致を図る。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):名古屋市立大学名誉教授 瀬口 哲夫

・外部評価実施日: 平成29年2月15日

・有識者コメント

第1期と第2期の公開以降、名古屋城への入場者は、公開前より約50万人も増加していること、外国人の来訪者も増加していることから、国内外から来訪者誘致し、交流と賑わいの場を創出するという当初の目的は十分果たせつつある。質的に優れた建造物を史実に忠実に復元することが大きな効果をもたらしていると言える。

名古屋城本丸御殿の復元により、往時の御殿を空間的に実感できるようになったことは、名古屋城の歴史的・文化的価値を一層向上することになっているが、復元建物の価値やどのように使用されていたかをわかりやすく伝える工夫がこれまで以上に求められる。外国人の入場者が増えていることから、多言語に対応した、QRコードやタブレットなどIT技術の活用し、視覚的な障害にならないような説明の工夫が期待される。

復元時の効果を一時的なものにしないためにも、長期的に計画的管理を行うとともに、入場者のいたずらにより生ずる小修理などにもこまめに対応する必要がある。

(今後の対応方針)

第3期の上洛殿等の公開に向けて復元を進めるとともに、現状の最低限のサインだけではなく、御殿や障壁画の歴史的背景や内容、使われている伝統工法など、本丸御殿の持つ価値を十分に伝えられる機能の拡充を図る。

また、ただ復元するだけでなく後世に伝えていくために、日常的な維持管理を適切に行いつつ、長期的な維持管理計画を策定していく。

| | | |
|--|-------|------|
| 評価対象年度 | 26年度～ | 28年度 |
| ・歴史的風致維持向上施設の整備・管理 | | |
| <p>代表的な取り組み①:</p> <p>「歴史の里」整備事業</p> <p>(取り組み概要) ナゴヤの古墳時代の歴史を物語り、尾張のルーツとも考えられる貴重な文化財である志段味古墳群と自然地形・景観を保存・活用して、歴史を身近に感じた体験・学習を通して、幅広い世代が楽しむことができる「歴史の里」の整備を行うもの。</p> <p>【主な経過】 昭和56年 名古屋市文化財調査委員会より保存・活用の提言 平成5年 名古屋市上志段味特定土地区画整理組合に協力要請 平成6年～8年 土地の先行取得 平成17年 基本構想の策定 平成25年 基本計画の策定 平成26年 国指定史跡指定(志段味古墳群)、保存管理計画の策定 平成27年～ 古墳・緑地整備工事着手 平成28年～ 部分供用開始 平成29年2月～ ガイダンス施設工事着手(予定) 平成31年3月 供用開始(予定)</p> <p>(自己評価) 平成27年度より古墳および緑地の整備工事に着手し、平成28年度から大塚・大久手古墳群地区の河岸段丘下(ガイダンス施設・駐車場建設予定地等)を除き、部分供用を開始している。 志段味大塚古墳については、平成27年度に墳丘・葺石・周濠を復元し、平成28年度には埴輪列の復元を行い、古墳が造られた当時の状況に完全復元できる予定である。白鳥塚古墳については、平成27年度に周濠の復元等を行い、平成28年度には葺石の一部復元等を行い、この地方で最初の大型前方後円墳の形状を見ることができるようになる予定である。 整備の中で、見学者用の園路、階段、説明板を設置するとともに、整備段階から民間旅行社による見学ツアーを誘致したり、古代体験まつりなどのイベントを実施しながら、本市の歴史的風致の拠点施設となるよう周知に努めてきた。</p> <p>(外部評価) ・外部有識者名(役職・肩書き等):名古屋市立大学名誉教授 瀬口 哲夫 ・外部評価実施日:平成29年2月15日 ・有識者コメント 志段味古墳群を「歴史の里」として整備されたこと、さらに、見学ツアーや体験まつりなどを実施していることは評価できる。 志段味古墳群は、土地区画整理地内外にあるため、将来的には、周囲に住宅が建築され、風景が変わる可能性が大きい。そのため、「歴史の里」の周囲に目隠し的な植栽が必要ではなかろうか。特に、「歴史の里」から東谷山が連続して遠望できるように、借景的な植栽を施すなどの工夫により、歴史的景観を保つ必要がある。 志段味古墳群の見学者の回遊性を確保するため、将来的には、古墳群をつなぐ緑道などを整備することが求められる。 白鳥塚古墳や志段味大塚古墳には、見学者の利便性を考え、墳丘に登るために、コンクリートの手摺付階段が設置されているが、やや人工的な感じがして、古墳の形の美しさがやや失われている。 志段味古墳群と、当時の人々の生活(住居址)と古墳の係わりの説明が少ないようだった。「歴史的風致」は、生活との係わりに重点があったと思われるので、説明に工夫を加えて欲しい。</p> <p>(今後の対応方針) 古墳周囲の歴史的景観を保つための目隠し的な植栽については、周辺住宅に配慮しながら、閉鎖的な空間にならないよう進めております。 「歴史の里」の各古墳をつなぐ緑道については、名古屋市上志段味特定土地区画整理組合が進めている志段味線(自転車歩行者専用道路)の整備により、「歴史の里」の中核的拠点地区である大塚・大久手古墳群地区と、「歴史の里」東エリアの白鳥塚古墳地区等を結ぶ歩行者、自転車のための道路が確保される予定です。 志段味古墳群と、古墳群に関係する人々の集落や生活等とのかかわりの説明については、今後整備する歴史の里ガイダンス施設のなかで検討していきます。</p> | | |

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

| | |
|--|----------------------------|
| 評価対象年度 | 進捗評価:平成28年度 総括評価:平成26～28年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称: 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会 | |
| 会議等の開催日時: 平成29年5月15日 | |
| (コメントの概要) | |
| <p>1. 進捗評価について</p> <p>各事業の進捗状況がよりわかりやすくなるよう、以下に留意すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の説明については、日時や場所、状況などをできる限り記載すること。 ・案内板等の整備状況については、位置する場所についても明示すること。 ・整備過程の事業については、将来イメージ図を添付すること。 ・個別事業における固有名称については記載に注意が必要である。 ・評価軸⑤について、報道内容として取り上げる対象の基準を整理すること。 <p>2. 総括評価について</p> <p>(1) 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録・認定制度は歴史的建造物の保存活用の機運を図るよい制度であるので、物件を増やす努力をしてほしい。 ・歴まちびとの派遣制度については、派遣された物件の所有者の満足度を図るアンケートなども必要ではないか。 <p>(2) 外部評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本丸御殿の復元について、来場者に復元作業を体験してもらったり、藩主になったつもりで御殿内を一周するようなイベントを行ってはどうか。 ・「歴史の里」整備事業について、区画整理事業との協調のほか、古墳群が地域の付加価値として認識されるような整備が必要である。 | |
| (今後の対応方針) | |
| <p>【進捗評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の毎年度の進捗状況の内容が市民にとってより具体的かつわかりやすくなるよう留意する。 <p>【総括評価について】</p> <p><自己評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録・認定制度について、歴史まちづくりの裾野を広げる重要な取組として、物件を増やしていく。 ・歴まちびと派遣制度について、派遣に対する建物所有者の満足度に関してもフィードバックに努める。 <p><外部評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本丸御殿の復元について、復元現場の見学会などを中心に、今後とも市民が御殿を体感できるような仕組みづくりに努める。 ・「歴史の里」整備事業について、地域に密着したイベントの実施やガイドボランティアとの協力を努める。 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗評価及び総括評価が各事業の見直しの契機となるよう、今後とも努める。 | |